

2021 年 3 月 25 日

農林中央金庫

DAIZ 株式会社への出資について

～植物肉の普及を通じた国産大豆の生産・消費拡大の取り組み～



農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）は、このたび、発芽大豆由来の植物肉「ミラクルミート」を開発・製造する DAIZ 株式会社（代表取締役社長：井出 剛、以下「当社」）に対して、「F&A 成長産業化出資枠」*を通じた出資を行いましたのでお知らせいたします。

近年、世界的な人口増加に伴うタンパク質危機や環境問題への対応、エシカル消費意識や健康意識の高まりを背景に、植物由来の食品は国内外で注目を集めています。このような中、当社は、従来の搾油後の大豆ではなく、大豆そのものを発芽させた原料を使用した独自の製造技術により、栄養価が高く、食肉に近い旨味・食感・香りを再現した大豆由来の植物肉を開発し、その市場開拓・普及に取り組んでおります。

当金庫では、当社の取組みを通じて大豆由来の植物肉の市場が拡大することで、将来的な国産大豆の消費拡大や増産の実現、ひいては農業生産者の所得向上につながるものと考えております。今回の出資を契機に、当金庫のネットワークに加え、同じ JA グループの組織とも連携して、大豆由来の植物肉の国内における市場開拓および国産大豆由来の商品開発を進めていく予定です。

また、本件を通じて、農林水産業を取り巻くサステナビリティの課題である資源保護や飢餓撲滅等の環境・社会課題についても、当社と継続的な連携・対話を行い、「農林水産業と食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」として課題解決に貢献してまいります。

引き続き当金庫は、投融資を通じて環境・社会課題の解決に貢献し、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 総務部広報企画班（大谷、後藤） TEL：03-5222-2017

* 「F&A（Food and Agri）成長産業化出資枠」

当金庫が 2016 年 5 月、「農林水産業の成長産業化」への貢献の一環として、農林水産業の高付加価値化・生産性向上のため、系統団体および国内外との企業との協働およびそれを支えるリスクマネーの供給を目的に設定しました。